

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2016
May
No.1051

5月

表紙

4月6日、カトリック幼稚園
入園式。6人の新入園児と前
年度途中入所の3人が、保護
者とともに式に出席しました。



- ✿とがち広域消防局、堂々スタート
- ✿今年もやります チャレンジデー2016
- ✿地域福祉計画を策定しました



本別消防署の緊急車両に搭載されている端末装置。出動時は常に指令センターとつながる



十勝の消防拠点となる指令センターが設置された帯広消防庁舎

十勝の力を結集し、迅速かつ最善の救助活動を実現。

指令センターでは、119番通報を受信すると、最新の位置情報システムで災害地点を瞬時に特定するとともに、通報内容から火災、救急、救助などの災害の種類を判断し、現場に最も近い消防署に出動の予告指令を送ります。予告指令を受けた消防署は、続いて送られる出動指令書をもとに現場へ急行。この出動指令情報は、各消防署の緊急車両に搭載されている端末装置にも同時に送られており、各車両の隊員は、端末装置を確認しながら、さらに詳細な情報を電話やデジタル無線などで指令センターから受け取ります。

この最新システムの活用により、出動指令等を的確かつ迅速に処理することが可能となるため、これまで以上に現場到着時間の短縮と緊急車両の効率的な運用・管理、さらには出動隊への支援情報共有が期待され、広大な十勝においても災害被害の軽減や最善の救助活動が実現できます。

通報時のお願い

- 必ず市町村名から伝えてください。また、近隣の住宅や施設のお名前を聞く場合があります
- 事故などの通報で住所がわからない場合は、付近の目印となる建物、目標物（学校や工場、看板、お店の名前、橋の名前など）を教えてください
- 固定電話からの通報は、瞬時に位置を特定できますので、可能な限り固定電話からの通報をお勧めします（携帯電話からの通報もおおむね特定できます）
- 通報する場合は、慌てず落ち着いて話してください

緊急時は、現場に最も近い消防署から出動します。本別町内でも、一部地域への緊急出動は、足寄町または土幌町、上土幌町の消防署から、本別消防署からも浦幌町や池田町の一部へ出動することとなっています。指令センターで受け付けた通報がより早く、正確に各消防署へ伝わるよう、次のことにご協力をお願いします。

119番通報は市町村名から

本別消防署から派遣の2人

本別消防署の署員2人が、4月からとかち広域消防局で勤務しています。本別のみならず十勝を守る2人から決意を聞きました。



情報指令課指令第1係 主任補 高橋佳久 さん (29)

119番通報を受ける指令業務を担う。「十勝管内のさまざまな地名を覚えながら、正確な情報、住所を各署の隊員に伝え、迅速な出動の手助けに最大限努力したい」。



情報指令課 課長補佐 田中慎二 さん (45)

システム管理や統括業務等を担う。「十勝消防の心臓部である指令センターに配属となり、各消防署への指令等、責務の大きさを痛感しています。十勝・本別のため頑張ります」。



とかち広域消防局で管内の119番通報を受け付ける消防指令センター。46インチの大型ディスプレイ12画面に、管内消防署等の全緊急車両308台の運用状況や、災害発生地点、気象・道路情報などが表示されている。指令台は通常時4席で対応し、集中した場合などには6席での受信も可能。さらに補助電話なども整備されています。

十勝約10,830km²の面積と人口34万人を管轄 とかち広域消防局、堂々スタート

十勝19市町村の消防業務を一本化した「とかち広域消防局」が4月1日、運用を開始しました。平成18年4月の十勝圏消防広域連携推進協議会設置から、検討10年。岐阜県や秋田県に匹敵する広大な面積に暮らす私たちの生命と財産、安全安心のまちづくりを支える消防業務が歴史的な移行を遂げた今、全消防署が力を合わせることで実現する、迅速かつ的確な消防・救急業務にますます期待が高まっています。



3月30日に行われたとかち広域消防局開所式では、関係団体や各消防署長らが出席し、決意を新たにしました。

とかち広域消防局には、予防課や救急救助課など5課あり、その業務は、十勝管内消防署からの派遣34人を含む全68人が一丸となって進めています。中でも、情報指令課が担う消防指令センターでは、最新鋭の高機能消防指令システムを駆使しながら20人が2交代制で24時間、十勝全域の119番通報を受け付けています。

同局運用開始前には、指令業務を担う職員を対象としたシステム操作訓練が2か月間にわたって行われたほか、各消防署、出張所とともに、通報受信から緊急車両出動、現場到着までの一連の流れについても十分な訓練が実施されました。

4月24日現在、同局から本別消防署が受けた指令は38件です。通報の受信、出動等、広域移行後もスムーズな消防活動が展開されており、他の消防署も順調なスタートを切っています。

タイムスケジュール

- 午前10時00分～ 開会宣言
溪流魚放流・釣り
各種売店コーナー
つつじ等即売会
ふわふわランド
本別義経太鼓
- 午前10時30分～ 開会式
- 午前11時00分～ ジャンボ義経鍋（1杯200円・1000食）
野点（無料）
- 午前11時20分～ OCTVキャンペーン
- 午前11時40分～ 十勝青空レディ紹介・写真撮影会
- 正午～ ゲーム大会
- 午後0時45分～ お笑いライブステージ&ゲーム大会
『とにかく明るい安村』



お笑いライブステージ

「とにかく明るい安村」

午後0時45分～



第58回本別山溪

つつじ祭り

5月8日

小雨
決行

午前10時～

義経の里本別公園

主催：本別山溪つつじ祭り実行委員会

第58回本別山溪つつじ祭り（実行委員会主催）が5月8日、本別公園で開催されます。1万6000株のエゾムラサキツツジと2000本のエゾヤマザクラ、盛りだくさんの催しで皆さんをお迎えします。



国民年金 コトナ

20歳以上の学生の皆さんへ

学生納付特例 制度とは？

学生納付特例制度は、所得の少ない学生が申請し、承認されることで国民年金保険料の納付を先送りできる制度です。

- 学生納付特例制度のメリット
 - ・ 年金を受け取るために必要な期間（受給資格期間）に算入されます。
 - ・ 在学中に、病気やスポーツなどのけがで障がいが残ったとき、障害基礎年金を受け取ることができます。

● 対象になる人

- ・ 大学（大学院）、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校※に在学する20歳以上の学生等で、ご本人の前年所得が基準以下の人です。
- ※ 学校教育法で規定されている修業年限が1年以上の課程

《所得の目安》

118万円＋扶養親族等の数×38万円で計算した額以下である場合

【申請方法】

印鑑（シャチハタは不可）および学生証の写しまたは在学証明書（原本）を持参の上、役場住民課戸籍年金担当窓口で申請してください。

※ 申請は、2年1か月前までさかのぼって手続きできます

◎ 決定通知

申請後、日本年金機構から「承認通知書」または「却下通知書」が届きます。承認通知書は承認期間は4月～翌年3月の1年間となります。

却下通知書は保険料を納付する必要があります。

※ 既に保険料を納めた月分は、学生納付特例の期間にはなりません。

手続きをこなすポイント

年金は、老後に受け取るだけではありません。万が一、病気やけがで障がいが残ったときに、保険料を納めていなかったり、学生納付特例の手続きを行っていないと、障害年金が受け取れなくなる可能性があります。保険料を納められないときは、そのままにせず、学生納付特例を申請しましょう。



詳しくは

住民課戸籍年金担当へ

☎22-8128

日本年金機構のホームページは

<http://www.nenkin.go.jp/>

チャレンジデー

2016

スポーツは健やかな日々へのパスポート

日常生活に運動やスポーツなどを定期的に取り入れ、健康な心と体を養うきっかけづくりとして、チャレンジデーを開催します。全町的な取り組みを目指しています。一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 5月25日(水) 午前0時～午後9時

ところ 町内ならどこでもOK

対象 子どもから大人まで

主催 本別町チャレンジデー実行委員会



チャレンジデーとは?

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベント。この日は人口規模がほぼ同じ自治体同士が午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした「住民参加率」を競い合うものです。また、参加率によって「金」「銀」「銅」メダルが授与されますので、「金」メダルを目指してがんばりましょう!

対戦相手は?

参加15回目の長野県喬木村(人口約6600人)です。

図書館では、「喬木村」を紹介するコーナーを設置しています。地図やパンフレットのほか、観光地なども紹介していますのでぜひ、ご覧ください。

対戦に取れた場合は?

相手自治体の町旗を庁舎メインホールに1週間掲揚し、相手の健闘をたたえます。

昨年参加者の声



藤井勝利さん
向陽町

町民の皆さんチャレンジデーにぜひ参加してください!! 向陽町では、毎年この日に合わせて朝のラジオ体操、ゴミ拾いウォーキング、65歳以上の軽体操・ゲーム等を行っています。高齢化が進む中、これを機に健康維持のため運動を続けていきたいと思います。



都鳥秀史さん
陸上クラブ

昨年のデイスコン大会には、陸上クラブの若手・中堅・ベテランで参加しました。接戦の連続でしたが思いがけず優勝できて楽しかったです。チャレンジデーは色々な職種の人々が交流できるのも魅力です。多くの皆さんで参加し、金メダル獲得と健康増進を目指しましょう。

チャレンジデー参加の流れ

★どんな運動、スポーツでもOK!

町内で午前0時から午後9時までの好きな時間に、15分以上継続した運動やスポーツを実施。自宅、学校、職場などどこでも構いません。個人、団体も問いません。また、町外からの通学・通勤者、観光客も参加可能です。

★運動、スポーツを終えたら報告!

皆さんからの報告で、参加率を集計します。運動、スポーツを終えたら、集計センターまで、住所・氏名・年齢・運動種目の報告をお願いします。

★集計センター(本部)町体育館内)

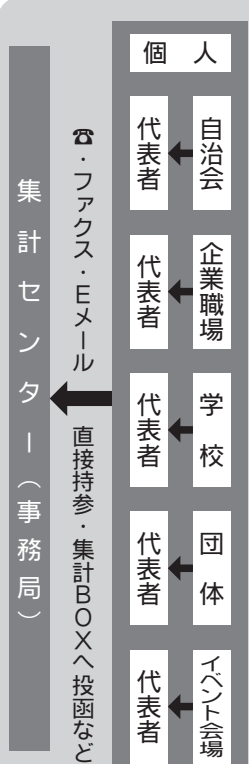
開設 5月25日(水) 午前6時～午後9時30分

☎22-114555 ファクス22-114666

Eメール c-day@town.honbetsu.hokkaido.jp

※集計ボックスも設置しますのでご利用ください。集計ボックスの設置場所および報告方法については、5月15日号からの情報紙かけはしの折り込みチラシで詳しくお知らせいたします。

参加報告のイメージ



チャレンジデー当日は、町体育施設等を無料開放します

○無料開放施設

次の施設を無料開放しますので、ぜひご利用ください。なお、町民以外の人も無料となります。

施設名	開放時間
太陽の丘PG場	午前9時～ 午後5時30分
体力増進センター	午前10時～ 午後9時
町民水泳プール	午後1時15分～ 午後8時
ふれあい多目的アリーナ	午後2時～ 午後4時

○使用料の減免

職場やグループなどの団体が、町体育施設や学校開放を使用する場合には、使用料の減免をします。取り組みを検討している団体がありましたら、事務局までご連絡ください。なお、施設に限りがあるため使用できない場合もありますのでご了承ください。

事前の問い合わせはこちらへ

本別町チャレンジデー実行委員会事務局(町体育館内スポーツ担当)

☎22-2331

イベント情報

実行委員会と町体育協会加盟団体では、チャレンジデー開催に合わせて、なかなか一人で運動は...という人のために、次の通りスポーツイベントを実施します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



参加料 無料

参加賞 用意

実行委員会主催イベント

イベント名	時間	会場	定員	申込
始めてみよう! 太極拳 ゆづり(屋)全身運動、脳活性化! 身体と心の健康づくり	午前6時~ 午前7時	町体育館集合 ※雨天時は町体育館内	なし	不要
「オーブンレンジイベント」 おはようラジオ体操 ※終了後にパンと牛乳を提供(数に限りあり)	午前7時15分~ 午前7時30分	役場正面玄関(南側)前 ※雨天時は町体育館内	なし	不要
春を感じて自然観察 神居山と諏訪山に登ろう!	午前9時~正午	道の駅東側入口集合 ※小雨決行	なし	5月20日まで要
爽快! 神居山から本別町を見渡ししましょう ※頂上では、お茶を用意しています	午前10時~正午	本別公園神居山頂上 ※各自で頂上目指し登山	なし	不要
ふまねつと ※1 ガンバルーン体験会 ※2	午前10時~正午 午後1時30分~ 午後3時	あいの里交流センター 仙美里地区公民館 美里別地区公民館	50人	不要
『ディスクン』で広げよう 町民の和 ※体験会のあと参加者で交流試合、賞品あり	午後1時30分~ 午後3時30分	中央公民館大ホール	なし	不要
ショッピングウオーク	午前10時~午後1時 午後4時~午後6時	フクハラ、エコープ ステラマート	なし	不要
あなたもチャレンジ! いきいき健康づくり! 体育館へGO! ニコニコスポーツや軽スポーツにチャレンジ!	午前10時~ 午後5時	町体育館大競技室	なし	不要
「ファイナルイベント」 今年もやるぞ!! ディスクン大会 ※3 ※3人以上1チームで(1人でも申し込み可)	午後6時30分~ 午後9時	中央公民館大ホール	なし	5月20日まで要

○申し込み町体育館内スポーツ担当 ☎222-2331
※1 床に敷いたマス目50cm四方の大きな網を、踏まないようにゆっくり歩く運動
※2 ボールを使った、握る、投げる、転がすなどの運動
※3 2チームに分かれて、床に設置されたディスクを投げ、的への近さを争う競技

町体育協会加盟団体主催イベント

★ゲートボール大会

時 午前8時30分~ 午後1時30分
所 ふれあい多目的アリーナ
申 5月17日(火) までにゲートボール協会 矢部英夫さん(☎22-5529)へ
※5人1組でお申し込みください



★バドミントン体験会

時 午後6時30分~
所 町体育館大競技室
申 パドミントン協会 山西美奈子さん(☎090-3777-2976)へ
※当日申し込み可
※興味のある人は遊びに来てください。初心者にもやさしく丁寧に指導します

★勝毎杯
ミニバレーボール大会

時 午後7時~
所 本別中学校体育館
内 混成(男2女2)
160歳未満の部
160歳以上の部
※男子1人女子3人のチーム構成も可
参加賞・賞品あり
申 1人500円
5月6日(金)までにミニバレー協会 高瀬英明さん(☎およびファクス22-2249)へ

★バスケットボール
体験交流会

時 午後6時~午後9時
所 本別中央小学校第1体育館
内 ミニバス、ジュニア、高校生一般の部
※個人・チーム参加どちらでも可(町外の人も参加可)
申 バスケットボール協会 川口道行さん(☎090-8709-5713)へ
※当日申し込み可

★パークゴルフ大会

時 午後1時~
所 太陽の丘パークゴルフ場
内 500円 賞品あり
申 男女別個人戦36ホール
5月18日(水) までにパークゴルフ協会 吉田武久さん(☎090-6212-9343)へ



イベント
情報の見方

時 時間
所 会場
内 内容
参 参加料
申 申し込み

自治会も
取り組みます

自治会でも取り組みます!ぜひご参加ください。詳しくは、5月15日号からの情報紙かけはしの折り込みチラシでお知らせします。



★弓道体験教室

時 午後4時30分~午後7時
所 ふれあい多目的アリーナ
申 弓道連盟 七田章さん(☎090-6993-8668)へ
※当日申し込み可

第3期 地域福祉計画

重点事業

災害時における 要援護者の避難支援

災害時には、地域の支援で無事に避難できるよう、要援護者一人ひとりの個別避難支援プラン作成を指すとともに、自治会の自主防災組織の結成・見直しを防災担当者と連携して進めます。

生活困窮者の 自立支援体制の構築

経済的に困窮している人や、社会的に孤立している人に対し、生活保護に至る前に支援を行い、対象者個人の自立促進のみではなく、居場所づくりやつながりができる相談・支援体制を構築します。

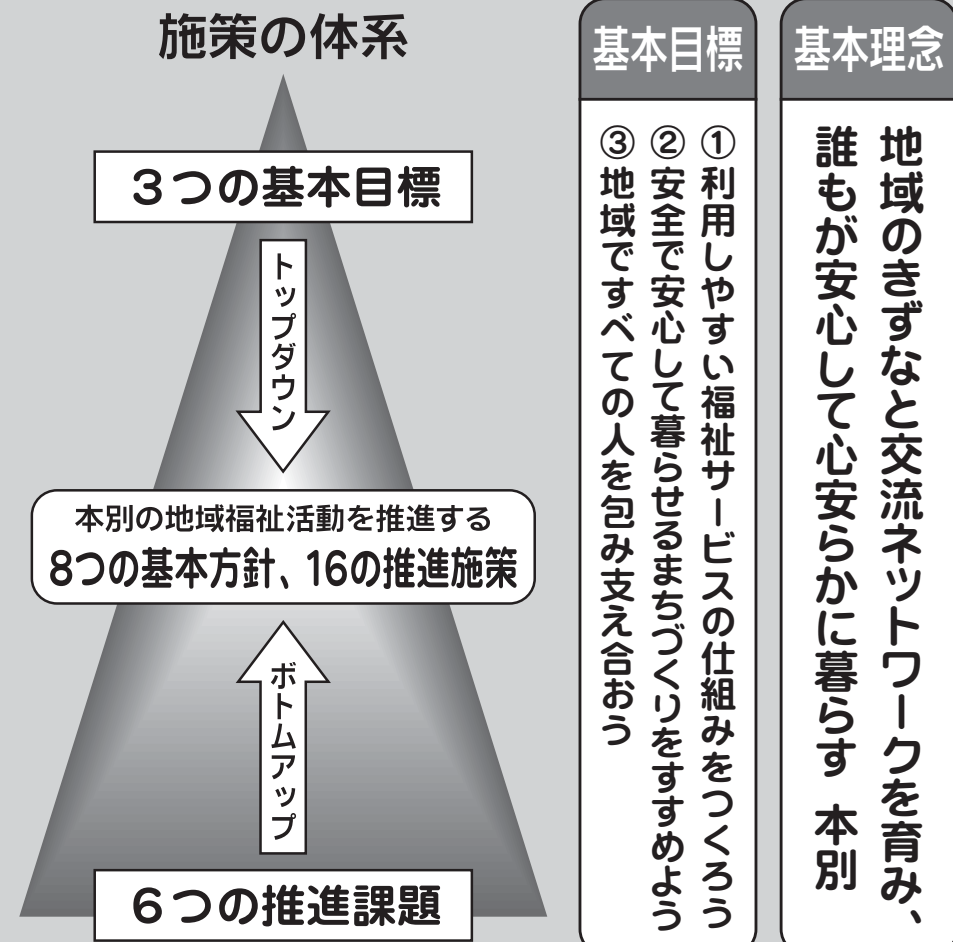
主な事業

介護職員初任者研修を実施します

空き家の利活用に取り組みます

あんしんサポーター養成事業に取り組みます

「人にやさしい、みんなが家族のまちづくりプラン」



生活困窮者の自立支援と 災害時の避難支援体制を構築します

町では、第6次本別町総合計画の基本理念である「ともに学び 支え合い 活力のあるまちづくり」を実現するための保健福祉部門の基本計画「第3期地域福祉計画」を平成28年3月、健康長寿のまちづくり会議（井出壬午会長）にて策定しました。

この計画は、銀河福祉タウン計画（高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画）等、福祉関連の個別計画の施策を推進する上で、共通理念と各計画の基本方向を示すもので、計画期間は、平成28年4月から平成33年3月の5年間です。

第3期計画では、第2期計画を基本的に継承し、本町が掲げる「福祉でまちづくり」を更に飛躍させ、「人にやさしい、みんなが家族のまちづくりプラン」となることを目指しています。

重点事業は、生活困窮者の自立支援体制の構築と災害時における要援護者の避難支援です。町では、自助・共助・公助の考え方を、町民と行政が互いに理解し合い、それぞれの役割分担による「協働」事業の拡大に取り組んでいきます。

3月24日に開かれた健康長寿のまちづくり会議。東大阪大学の鷹野和美教授出席のもと、活発な意見で計画が審議されました



計画書は、総合ケアセンターにあるほか、町ホームページにも掲載しています。どうぞご覧ください。

問い合わせ
総合ケアセンター
☎22-8520

健康長寿の まちづくり会議が 計画を審議

健康長寿のまちづくり会議は、一般公募委員のほか、保健福祉に関する関係団体と学識経験者、介護事業者など計22人で本別町の福祉に関するさまざまな施策の策定や評価、苦情処理などについて調査・審議しており、第3期地域福祉計画は、3月24日に開かれた平成27年度第4回会議にて審議されました。会議では、同計画の内容や、障がい者自立支援協議会の再編など6項目について、事務局が報告と提案を行い、出席した委員の皆さんからは、介護人材確保のあり方や、本町が進めている空き家対策の取り組みについてなど、さまざまな意見が出された後、計画が承認されています。

町では、会議で寄せられた意見を基に、今後も新たな福祉施策の展開と多様なニーズに対応していきます。

会議で 寄せられた ご意見

千葉 妙子 委員
（本別町手をつなぐ親の会）
福祉人材を確保するためには、幼少期の子供たちへ介護職の魅力を伝えていってほしいかがでしょうか。幼児・小学生等が高齢者施設等を訪問する機会を増やし、お年寄りはもちろん、介護職の皆さんとたくさん交流してほしいと思います。

澤田 満 委員
（本別町介護相談員）
空き家を含む住宅支援と合わせて、就労や買い物、周囲とのコミュニケーション、地域とのつながり等、住まいと暮らしを一体的に支援するようお願いします。本別にある数多くのニーズに対応し、型にはまらない福祉サービスを提供します。



1. 記念事業のアドバイザー 鷹野和美教授
 2. 第1部の実践発表で登壇した勇足地区福寿草の会 篠原恵子さん
 3. 本別消防団女性消防団員の岡崎由香理さんは、写真も紹介しながら、活動を報告しました
 4. カフェスタイルで行われた第2部。社会福祉協議会や地域包括支援センター職員の進行のもと、参加者らが自分たちの取り組みを語り合いました

支え合いによる 協働のまちづくり を考える

宣言から10年を記念した平成27年度福祉でまちづくり宣言記念事業（健康長寿のまちづくり会議主催）井出壬午会長が3月24日、「みんなが主役！新しい地域づくりを考えよう！」をテーマに、中央公民館で開催されました。

今年の記念事業は2部構成で行われ、井出会長のあいさつの後、出席者180人全員で「福祉でまちづくり宣言文」を朗読。第1部では、本記念事業のアドバイザーで、これまでも本町の保健や医療、福祉に助言をいただいている、東大阪大学の鷹野和美教授が講演し、「本別町にはすでに地域包括ケアシステムの基盤があり、今後も他の自治体の模範となる素晴らしい町が出来上がると確信しています」と語りました。

引き続き、「身近なところでの実践発表」と題し、町内で早朝ラジオ体操や山登り、健康づくり教室などに長年取り組んでいる8団体が、日ごろの活動状況と成果を発表。第2部では、参加者らが12グループに分かれ、キーキとお茶をいただきながら、スポーツや趣味、ボランティアなどで取り組んでいる活動や、これからやってみようことについて自由に意見を出し合い、各団体が支え合うことで実現する、協働のまちづくりについて考えました。

町国保病院、内科医長に 草野学医師が着任しました

3月22日、町国保病院内科医長に草野学医師（53歳）が着任しました。

草野医師は、大阪府八尾市出身で、近畿大学医学部を卒業後、30歳まで大阪府内の病院に勤務した後、九州の医療機関で消化器内視鏡専門医を取得。北海道には10年程前に移り、土幌町国保病院などで勤務された経験があります。前任は日本赤十字社浦河赤十字病院内科部長。

患者さんの 気持ちに寄り添った 診療を行いたい

草野医師は、十勝での勤務を決めた理由について、「土幌町国保病院に勤務していた時に風土が気に入った。平原や森、日照量の多い青い空などが印象的だった」と話されました。

地域医療に対する思いについては、都会の大きな病院での勤務経験を語った上で、患者さんの診察は身体だけでなく心も診て総合的に判断することが大事であり、その点で、地域医療はバランスのとれた診療が可能であるとし、「患者さんの気持ちに寄り添った診療を行いたい」と熱く語りました。

趣味は、家の庭の芝生づくりとのこと。「芝の育成は人の細胞と同じで、栄養の与え方で成長が変わります」と笑顔で話してくれました。日高管内新ひだか町静内に奥様と2匹の愛犬を残しての単身赴任ですが、奥様は英語指導の仕事を持ち、「女性が教える姿は美しい」と愛妻家の一面をのぞかせました。





交通安全を願って

春のほかばか陽気に誘われ、外に出かける機会も増えてきました。新入学児童も元気に登校しています。雪解けて道路状況も良くなり、ドライバーはスピードの出し過ぎには注意しましょう。「春の全国交通安全運動（4月6日から15日）」に合わせて、町内ではさまざまな団体が各種活動をスタートさせました。

春の全国交通安全運動 スタート!

4/5 本別ライオンズクラブ交通安全帽子贈呈式
本別ライオンズクラブ（山西二三夫妻長）が、町内4保育所へ交通安全の黄色い帽子43個を贈呈しました。南保育所（北山真優美所長）では、4月5日に贈呈式が行われ、山西会長は「車に気を付けてください」と子供たちへ呼び掛け、同保育所の年長組13人が「黄色い帽子ありがとう。交通安全に気を付けて元気に保育所に通います」と答えました。



4/6 春の交通安全運動出動式

春の全国交通安全運動がスタートし、本別警察署（會田英一署長）では、4月6日に式が行われました。交通安全関係団体など約20人が参加するなか、會田署長は、「新入学の季節となり、子どもの安全を守るため、町民皆さんの協力が大切です」とあいさつ。出動宣言のあと、パトロールカー6台が一斉に市街地に出発しました。

十勝管内の交通事故状況
平成27年の十勝管内の交通事故死者数は10人。このうち1人は本別町内で発生した事故によるものです。平成28年は、十勝管内で既に1人（3月末現在）が交通事故で亡くなっています。

子供たちを交通事故から守る

本別警察署が4月8日、本別地区安全運転管理者協会（坂入隆会長）協力のもと、町内3小学校の新入学児童へキーホルダーなど防犯交通安全グッズをプレゼント。同日には、町交通安全指導員会（宮崎統会長）が主催する春の登校時交通安全キャンペーンも行われ、関係機関からの参加者約30人が、通学路5か所で児童・生徒に交通安全啓発用ポケットティッシュなどを配付し、車に気を付けて元気に登校するよう呼び掛けました。

本別中央小学校（山川修校長）では、同日に1年生28人を、同日には2年生から6年生191人を対象に交通安全教室を行い、同指導員の協力を得ながら、児童らが横断歩道の渡り方や信号機の見方、自転車の乗り方などを訓練しました。同日には、勇足小学校（吉藤清孝校長、52人）でも交通安全教室が行われ、自転車の乗車訓練のほか、大型車の内輪差による危険も学び、車の近くで遊ばないなどのルールを学習しました。



4/8 防犯交通安全グッズ配付



**4/11 交通安全指導員会
春の登校時交通安全キャンペーン**



4/20 勇足小



4/20 本別中央小2年～6年生



4/12 本別中央小1年生



4/14 本別ライオンズクラブ



交通安全母の会 4/6



建友会 4/12

ドライバーへ 交通安全を 呼び掛ける

交通安全母の会（田西喜代会長）が4月6日、旧駅前国道交差点で街頭啓発を行いました。同会会員の7人は、運転手や歩行者にスピードダウンの旗を掲

げながら、マイクを通して交通安全を呼び掛けました。同日には建友会（三木哲会長）会員30人が南4丁目の国道242号線沿いで、同日には本別ライオンズクラブ会員17人が北8丁目ふれあい公園で、それぞれ交通安全キャンペーンを実施。各会員らは、道行くドライバーに、交通安全啓発チラシや携帯ストラップなど各100セットを手渡ししながら、安全運転を訴えました。

水道工事・下水道工事にぜひ協力を

今年度も水道工事・下水道工事を計画図の通り行います。水道工事の際には、一時断水や多少水が濁ったりする場合があります。下水道工事では、個所によっては工法上、作業中に車両通行止めのところも出るため、両通行止めのところも出るため、回り道の案内標識をご確認の上、通行をお願いします。皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

下水道の普及状況は

町公共下水道は皆さんの温かいご理解で、平成3年3月末に供用を開始した後も順調に進み、平成27年度末で整備面積が280.5ha(事業認可面積357ha中)、管きよ(下水道の埋設)の総延長は51.2kmとなりました。平成27年度の水洗化など(トイレ、台所、風呂)の状況は、改造工事および新築による接続を合わせて46件で(個人、法人、団体すべてを含む)、これまでの累計は2609件となり、水洗化率は90.32%となりました。

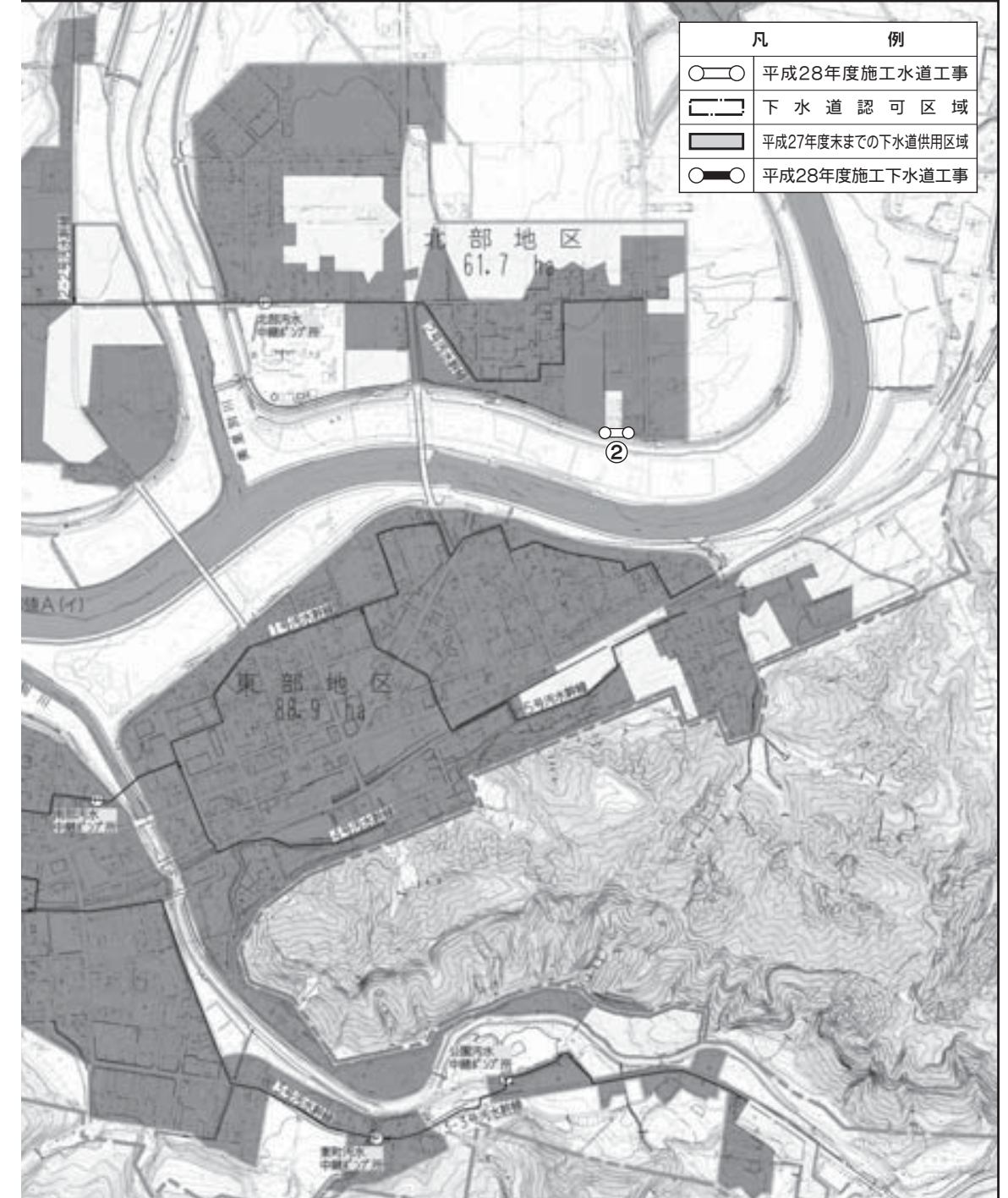
水洗化改造工事に融資・補助制度があります

融資あっせん制度は融資額の上限が60万円。自己資金で工事を行った人への補助金の上限は6万円となっています(供用後3年以内に工事をされた場合)。
3年を過ぎてから工事を行った場合は、1年経過ごとに上限の額が少しずつ低くなり、補助については5年で打ち切りとなります。

工事の申し込みは町の指定業者へ

給水装置の新設、改造、修繕、撤去などの水道工事や水洗化改造工事を行うときは、町が指定した指定工事業者へ工事の申し込みをしてください。指定工事業者が建設水道課へ必要な手続きや、水洗化工事における融資あっせん制度、補助金制度の手続きを取り、工事を行います。

お問い合わせ
建設水道課
水道・下水道担当
☎222-8122



本別・南三陸 ふるさと交流研修会

毎年、夏は宮城県南三陸町で、春は本別町で、地域で活躍する中高生ボランティア(ジュニアリーダー)が、互いに行き来して研修を行い、その季節にその地域でしかできない活動を通して心の交流を深めています。今回は3月25日から28日の日程で行われたふるさと交流研修会。南三陸町からは8人が来町し、本別町からは18人の中高生が参加しました。さまざまな体験活動を通して充実した交流ができました。



3/28 (月)

お別れ会ではお互いのネームを交換



また会おうね!

涙のお別れ式。再会を誓ったあと、楽しかった思い出を胸に南三陸町のジュニアリーダーたちは本別町をあとにしました。次は夏の南三陸町で会いましょう!



3/27 (日)

玉入れ競技
3人の達人に教わり勝負!



残雪のなかで友情の火がともされました

最後の夜は、雪の中での幻想的なキャンプファイア。南三陸町引率者からは震災当時の出来事が、またジュニアリーダーからはこの交流への思いが語られ、皆涙しました。

参加者の感想

- 今回の交流研修会で自分の意識が変わりました。これからの活動のことを後輩たちに伝えていきたい。あと1年しか活動ができないので、ジュニアリーダーとして後悔しない活動をしていきたいと思える研修会となりました。(本別高校3年 山下 莉奈)
- 泣いて笑っての3泊4日でした。南三陸町のみんなから刺激を受けたり、今までのお互いの活動について語り合ったり、みんなにもよい経験となったと思います。この活動ができることに感謝の気持ちを忘れず、31年間続くこの交流を絶やさないでほしいと思いました。(本別高校2年 中村 亜依)

ご案内

夏のふるさと交流は夏休みに開催

第32年次のふるさと交流研修会は、7月31日(日)～8月5日(金)の5泊6日、宮城県南三陸町で開催する予定で中学1・2年生を中心に10人程度募集します。詳しくは学校を通じて5月下旬以降にご案内いたします。

中高生ボランティアリーダー募集

本別ボランティアクラブかめでは、ボランティア活動をやってみたい中高生を募集しています。もちろん部活動や勉強などの両立もできますので、気軽に活動に取り組んでみませんか? 興味のある人はぜひ中央公民館(☎22-5111)にお問い合わせください。

3/26 (土)



回をとかして「ワックスボウル」づくり

3/25 (金)



南三陸町の皆さん、ようこそ本別町へ!



快晴の中、上士幌町三股で「歩くスキー」!



みんなで行きなリダンス(?)



昼食は特製の豚汁をいただきました



夕食は本別町市街地婦人会特製カレーライス! ごちそうさまでした!

HELLO

本別高校の教育を
考える会

みなさんの
応援をよろしく
お願いします

昭和17年に旧制中学として開校し、十勝管内で2番目に古い歴史と伝統をもった本別高校は、「総意実践」の校訓により、生徒一人ひとりの個性を大切にした教育を行っています。

今年度、本別高校に通学する生徒は、1年生33人、2年生47人、3年生61人、合計141人となり、新入生が3年ぶりに1クラスとなりました。少子化による中学卒業者の減少に伴い、将来的に1学年2学級を維持するのは大変厳しい状況にあります。

しかし、伝統ある本別高校を、今後も地域の拠点校として位置付け、切磋琢磨し合う環境をつくっていくには2クラスを維持する必要があります。

「本別高校の教育を考える会（我妻勇次会長）」では、学校との連携により、魅力ある高校づくりを支援していくため、進路指導、学力向上、部活動、通学費助成、入学準備支援などを行っています。

今後、「本別高校の支援への輪を広げる町民の集い」（仮称）の開催など、本別高校の先生や生徒たちが頑張っている姿をあらゆる形で情報発信し、町民のみなさんの協力をいただき、本別高校の活動をさらに活発化させていきたいと考えておりますので、応援をよろしく願いいたします。



在校生の出身中学校別人数

本別中学校	74人	浦幌中学校	30人
仙美里中学校	6人	池田中学校	1人
勇足中学校	9人	足寄中学校	8人
上浦幌中学校	4人	陸別中学校	9人



入学式の様子



校外行事活動への支援

本別高校での進路の取り組み

本別高校では、基礎から難関突破までの学習指導を細やかに行っています。1年生では、国語・数学・英語・理科の授業を多く設定して基礎学力を確実に身に付けられるように、2年生・3年生では関心や進路に合わせて専門的に選択することができるよう、全日制普通科としては他校より10教科ほど多くの選択科目を設けて、個々の生徒に合わせて多様な指導を行っています。さらに、3年生になると生徒1人に担当の先生が配置され、進路先が決定するまで個別指導を徹底しています。

平成28年度 小中学校入学式



本別中学校入学式

平成28年度の町内小中学校入学式が4月8日、大勢の在校生や保護者などが見守る中、各校で開かれました。今年度の新入生は、小学校38人、中学校53人の計91人。児童生徒の皆さんは、新たな学校生活に緊張しながらも希望に目を輝かせ、初登校しました。



仙美里小学校入学式

希望を胸に新たな一歩

仙美里小学校（高瀬悟史校長）入学式では、新入学児童2人が担任の後に続いて入場し、会場の先生や在校生に「勉強頑張ります」と元気よくあいさつ。在校生を代表して岡本想也児童会長が「お兄さんお姉さんにいろいろ聞いて、楽しい学校生活を送りましょう」と歓迎の言葉を述べました。

本別中学校（池浦暢校長）入学式では、46人の新入生が出席。池浦校長が「本中生のあいさつは素晴らしいので、先輩を見習いましょう。思いやりを大切に、目標をもって中学校生活を送ってください」と激励し、新入生を代表して伏見翔哉さんが入学認定として身分証明書を受け取りました。在校生との対面式では、倉川菜英さんが「夢を叶えるために何事にもチャレンジし、仲間と助け合います。好奇心を持って全力で取り組みます」と力強く抱負を語り、生徒たちは、新しい仲間とともに期待と希望に胸を膨らませながら新生活をスタートさせました。

100歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈 4 8

足助ミノエさんが4月8日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝い金が手渡されました。

ミノエさんは大正5年4月8日、本別町でお生まれになり、結婚後、帯広市で暮らしたあと、平成11年8月からは、町特別養護老人ホームに入所しています。お祝いのこの日は、施設職員や入所者らに見守られながら、祝い金を受け取り、高橋町長から、「おめでとう」の言葉を掛けられると、笑顔を見せていました。孫の足助博郁さんは、ミノエさんが100歳を迎えたことについて、「施設の皆さんに食生活など配慮いただいたのが長生きの秘訣だと思います。本人は100歳まで生きると言っていたので、約束を果たして喜んでいてと思います」と感謝と喜びを語りました。



母子保健計画が 策定となりました 4 1

平成28～31年度の4年間の母子保健活動の方向性を定めた「第2次母子保健計画」が4月からスタートしました。この計画は、平成27年度中に町内の母子保健に携わる学校養護教諭や子育てサークルの代表等で構成する策定委員会により検討を重ね、昨年12月に町民の皆さんから広く意見を募集し、決定されたものです。同計画には、「みんなのやさしさに包まれてすべての親子がいいき笑顔で過ごせるまち」のスローガンのもと、子供たちの健やかな成長を支援するための各種教室、健康診査のほか、学校と連携した思春期の生教育等の取り組みが示されています。計画の主な内容は、町ホーム



親子で楽しむ コンサート 4 7

家庭教育支援事業「なかよし」親子のためのふれあい音楽会が4月7日、健康管理センターで開催されました。本別高等学校吹奏楽部(宇井敦子部長)の部員14人がファミリーアニメコレクションなど6曲を演奏したほか、保育士を目指す同校3年生の3人がボランティアとして絵本の読み聞かせを披露。参加した4組9人の親子と清流の里から参加した8人がリズムに合わせて手をたたいたり、絵本に見入るなど、楽しいひとときを過ごしました。



空き家対策計画を 協議 3 29

第3回本別町居住支援協議会(鹿島豊隆会長)が3月29日、総合ケアセンターで開かれました。会議では、これまで取り組んできた空き家等実態調査結果の概要について、町担当者が報告した後、倒壊の恐れや適切な管理がされていない空き家を「特定空き家」として判定するための基準と、今後の空き家利活用案等について、出席した委員26人で審議。続いて、同協議会で策定する「本別町空き家対策計画」の素案について協議が行われ、福祉でまちづくりと連携した住まいの確保策について意見が出されました。



ゆっくり丁寧に ラクレットチーズ作り 3 17

ラクレットチーズ作り講習会が3月17日、ゲンキッチンで開かれました。幕別町のチーズ工場NEEDSから、佐々木司工場長を講師に迎え、参加した17人が、生乳80ℓから4kgのラクレットチーズを2個作るための作業に挑戦。チーズ作りに欠かせない酵素や乳酸菌などのお話も聞きながら、ゆっくりと丁寧に生乳をかき混ぜ、最後にモールドと呼ばれる型に流し込みました。完成には数か月かかるため、出来たてのチーズを味わうことはできませんでしたが、参加者らはチーズ作りの奥深さを学びました。



励まし合って体力の限界に挑戦 4 14

勇足中学校(阿部立校長)と勇足小学校(吉藤清孝校長)の合同体力テストが4月14日、勇足中学校体育館で行われました。これは、小学5年生と中学2年生を対象に全国で実施されている新体力テストに合わせて行われたもので、両校の小学4年生から中学3年生の計43人が参加。児童・生徒は4グループに分かれて、20mシャトルラン、上体起こし、反復横跳びの3種目を行い、周りの声援を受けながら体力の限界に挑みました。秋にも同様に合同で体力テストが実施される予定です。



仙美里地区放課後 子ども教室スタート 4 1

仙美里地区放課後子ども教室が4月1日、仙美里地区公民館でスタートしました。同教室は、放課後に子供たちが安心して活動できる居場所を作ることを目的に、町と運営委員会により設置されたもので、4月のスタート時は、仙美里小学校の児童3人が入所。指導員2人の協力のもと、子供たちは、春休みに続き、新学期の放課後も元気に登所し、宿題に取り組んだり、絵本を読むなど、異年齢の交流を楽しんでいます。



小学生102人、 バスに乗って映画館へ 3 25~30

ふるさと銀河線代替バス振興会議(三枝金作会長)による、小学生を対象とした映画観賞ツアーが3月25日から30日までのうちの4日間、十勝バス帯広陸別線の帯広本別間で行われました。平成20年から開催されている同ツアーに、今回はこれまでで最大の町内小学生102人が参加。子供たちは、仙美里・本別・勇足の各停留所からバスに乗り込み、乗車のマナーや料金表の見方などを学びながら帯広駅まで移動し、帯広市内の映画館で人気キャラクターの映画を楽しみました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121



活発に意見交換 4 20~22

本別町議会（方川一郎議長）による第7回町民懇談会が4月20日～22日の3日間、町内の6会場で開催されました。開催初日の北地区交流センターと新町集会所には計30人の町民が出席。議員から平成27年度の議会活動状況や議案等審議状況などが報告されたほか、6月の制定に向けて進めている「本別町議会基本条例（素案）」について説明がありました。懇談会の最後には意見交換も行われ、出席者から住宅改修助成制度や空き家対策、本別高校間口減、旧仙美里中学校跡地利活用についてなど、さまざまな意見や要望が出されました。



パレードで火災予防を訴える 4 20

春の全道火災予防運動（4月20日～30日）初日の4月20日、防火啓発パレードが町内で行われました。砂原勝副町長のあいさつの後、消防車両7台と町危険物安全協会の車両10台の計17台が本別消防署前を出発。町内約5kmを走行しながら、火災予防を訴えました。



肉厚シイタケ楽しみ 4 16

キノコ栽培研修会（本別町林業グループ主催、本別町営農指導対策協議会共催）が4月16日、役場前駐車場で開かれました。十勝総合振興局森林室足寄事務所の職員3人と同グループ3人の指導のもと、参加者24人は、ほだ木の管理方法についてお話を聞いた後、5グループに分かれ、用意されたミズナラの原木300本に電動ドリルで穴を開け、シイタケの菌を植え付ける作業を開始。完成したほだ木は、参加者が自宅に持ち帰り、各家庭で管理していきます。研修会に参加した、美里別東下1の高橋清子さんは、「来年、肉厚なシイタケを収穫できるのが楽しみです」と話しました。



交通安全指導員に委嘱状を交付 4 14

本別町交通安全推進委員会（会長＝高橋正夫町長）定期総会が4月14日、町体育館で行われました。同委員会は、町内の学校や各交通安全団体など41団体で構成しており、総会には22団体31人が出席。初めに総会出席の指導員6人へ、高橋町長が委嘱状を交付した後、事務局より平成27年度の事業・決算報告と、平成28年度の事業計画・予算案が提案され、全会一致で承認されました。



スマホトラブルを避けるため 4 21

本別高校（佐藤渉校長、141人）の生徒と保護者等を対象とした「携帯電話・スマートフォン安全使用講話」が4月21日、KDD Iスマホ・ケータイ安全教室の山田一郎氏を講師に、同校体育館で開催されました。山田氏はスマートフォン等を使用した情報発信、無料通信アプリ、SNSを介して、実際に発生した事件の事例を動画で紹介しながら、「インターネットの世界では相手が見えず、軽はずみな言動を取りがちで、トラブルにつながる等、皆さんの将来に大きな影響を及ぼし兼ねない」と警告。文字コミュニケーションの難しさを説明し、友達に現実の世界でつくるのが大切としました。最後に鈴木亜実生徒会副会長が、「携帯・スマホは便利な反面、人を傷つけることができてしまうことがわかりました」とお礼のあいさつを述べました。



女性消防団が防火を呼び掛け 4 20

本別消防団（遠藤利之団長）の女性消防団員4人が4月20日、春の全道火災予防運動に伴い、予防普及活動の一環として、町内の2つのスーパー前で防火PRを行いました。団員らは、火災予防運動のタスキをかけ、買い物に訪れた地域の住民に「空気が乾燥して火災が発生しやすい時期です。火の元には気を付けてください」とやさしく声を掛け、火災予防啓発パンフレットと台所用品を手渡しました。



たくさん本を読んでね 4 18・21

図書館ボランティアぶっくる（綾野治男会長）が4月18日と21日、町内3小学校を訪問し、新1年生に手作りのしおりとストラップをプレゼントしました。しおりの贈呈は、子供たちに読書を楽しんでもらいたいとの思いから14年前に始まり、また、「コロぶっくる」と名付けられた人形のストラップには胸に信号機をイメージする3色を表示し、交通安全の願いが込められています。勇足小学校（吉藤清孝校長）では同ぶっくる会員の小泉優子さんと伊藤陽子さんが1年生8人にプレゼントを手渡し、倉崎笑歌さんは、「ピンク帽のコロぶっくるをもらってうれしかった。たくさん本を読みたいな」と話していました。



町・観光協会・道の駅の連携を確認 4 15

本別町観光協会（野田仁会長）定期総会が4月15日、町内温泉ホテルで開催されました。会議には、同協会加盟の32人が出席。野田会長のあいさつに続き、事務局から、平成27年度の事業・決算報告等が行われた後、平成28年度の事業計画・予算案と、観光協会表彰規定の新設が提案され、すべての議事が承認されました。事業計画案には、本別町の観光・地域資源を活かすための4つの方針として、本別町が実施する道の駅を核とした（仮称）銀河の里DMO観光地域づくり連携事業の推進など、町の地方創生関連の取り組みも盛り込まれており、今後、観光協会と町、道の駅が連携した事業展開がされていきます。また、同表彰規定は、町民参加の協働のまちづくりのひとつとして設置されたもので、同協会会員の推薦により、本別町の観光発展に功績がある人へ贈られます。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



清流町
畑山 柁士郎 (優佳ママ)



美里別東上
方川 一華 (亜華ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

帯広市本別会80周年を祝う

3/21

帯広市本別会(相澤治会長)創立80周年を祝う会が3月21日、帯広市内のホテルで開かれました。同会は昭和9年の発足以降、戦中戦後も途絶えることなく交流が図られており、お祝いのこの日は相澤会長が「諸先輩方の苦勞に感謝するとともに、本別町がますます発展するよう願っています」とあいさつ。高橋正夫町長らが祝辞を述べ、引き続き出席者72人が会食とアトラクションなどで交流しました。なお、同会からは80周年を記念し、本別町図書館用の展示ボードを寄贈いただいています。



ご寄付ありがとうございます 平成28年3月16日から4月15日

- 次の通りご寄付をいただきました。
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ★図書館指定
展示用書棚一式…帯広市本別会 会長 相澤 治
図書購入(100,000円)…JA女性部
資源ゴミ回収ボランティア「美助人」
 - ★中央・南・勇足・仙美里保育所指定
交通安全帽子43個
…本別ライオンズクラブ 会長 山西二三夫
 - ★老人ホーム指定
タオル100枚…本別町役場夫人一同 代表 高橋 照子
タオル100枚…昭和二十一年成年会 会長 長谷川寛三
 - ★国民健康保険病院指定
タオル37枚…本別町役場夫人一同 代表 高橋 照子

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

金60,000円	神奈川県	新津 徹
各金30,000円	神奈川県	青木 敏
	東京都	佐方 信夫
各金10,000円	神奈川県	大塚 敏
	東京都	川口 純一
	兵庫県	片岡 ちか
	愛知県	酒井 邦彦
	青森県	木村 千尋
	札幌市	大屋 修司
	千葉県	関 百合子
	東京都	武内 祐二
	愛知県	浅井 行孝
	東京都	稲垣 秀一
	東京都	松田 繁雄
計金710,000円		匿名71人

みんなの健康

381

超高齢社会の今、認知症の人は、ますます増えると言われています。皆さんの周りにも「何だか最近物忘れが多いな?」「今までとちょっと違うな?」と感じる人はいませんか?

認知症に お困りの方は…

「時間や場所がわからなくなる」「段取りを立てて手順通り行うことができなくなる」などの症状が出てきます。中には「穏やかな性格の人が急に怒りやすくなる」「身だしなみに無頓着になる」などの症状が出て来る人もいます。

「いきなり専門医に相談するのは不安」という方は、まずはかかりつけ医に相談してみるのも良いでしょう。本別町の認知症に関する相談窓口は、地域包括支援センター(総合ケアセンター)にあり、今年から新たに「認知症初期集中支援チーム」という活動も開始しました。この活動は、ご本人に物忘れの自覚がなく、医療機関での診断や介護サービスの利用ができない方、病院やサービスを利用しているけれど、認知症の症状が進んで対応に苦慮している方のご自宅に、医療職と福祉職が2人で訪問し、適切に対応していただけるよう支援していくサービスです。認知症のケアは、長期間にわたる場合が多く、家族だけの対応は困難です。早期に診断を受けることで、ご本人もご家族も余裕をもってこれらの生活を考えることが可能になります。

ぜひお気軽に地域包括支援センター(☎22-19222)までご相談ください。
地域包括支援センター
保健師 本多朝美



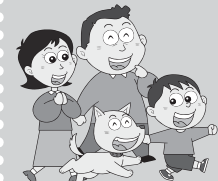
銀河ホップトランジション

足寄町

第35回

足寄ふるさと花まつり

春の訪れを感じながら、家族や友人と焼き肉を食べて楽しいひとときを過ごしませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。



□とき 5月29日(日)
午前9時45分

- ところ 足寄町役場横駐車場
- 内容 町民ステージショー、北海道歌旅座「昭和ノスタルジア」、カマス挙げ大会、抽選会、焼肉用七輪貸し出しなど
- お問い合わせ 足寄町役場経済課林業商工観光室 ☎25-12141 内線251
- 入場料 大人 1200円 (高校生以下 無料)
- お問い合わせ 陸別町役場産業振興課商工業振興担当 ☎27-12141 内線135

陸別町

オフロードバトル

今年のモータースポーツの幕開けとなる「オフロードバトル」が開催されます。

パギー車とATVによる白熱のレースをぜひご観戦ください。

□とき 5月22日(日)
午前9時スタート

□ところ 陸別サーキット (陸別町ウエンバツ)



本のある暮らし 182

ガーデニングの季節です

戸籍のまど

お誕生

3月後半から
4月前半の
届出分

金曾 はな 雄一さん 3/16 向陽町
河野 結心 仲勝さん 3/30 栄町
石崎 花英 望さん 4/9 北7丁目

ご結婚

(今野 直樹さん 上押帯
大西 史織さん 帯広市
矢野 数馬さん 勇足元町
森田 香苗さん 帯広市)

おくやみ

阿部 久子さん 70歳 3/16 朝日町
三好 喜美雄さん 72歳 3/17 北2丁目
菅原 哲三さん 75歳 3/25 柏木町
藤枝 秀雄さん 78歳 3/26 勇足東1
伊藤 秋代さん 91歳 3/29 栄町
和田 道子さん 56歳 3/29 柳町
戸高 ヨネ子さん 77歳 4/3 追名牛
伊藤 邦夫さん 95歳 4/5 栄町
遠藤 一雄さん 80歳 4/6 北2丁目
吉川 英晴さん 72歳 4/12 勇足西1
石上千代子さん 92歳 4/14 勇足東3

わたしたちのまち

前月比
人口 **7,364人(-154)**
男 **3,599人(-97)**
女 **3,765人(-57)**
世帯数 **3,640戸(-74)**
〔3月末日住民基本台帳〕

～素敵に庭を飾りましょう!!～

自宅で草花を育てて楽しむガーデニング。広い庭がなくてもプランターやベランダで気軽に楽しむこともできます。身のまわりにあるかわいい雑貨やガーデニンググッズを使って、庭やベランダをデザインすることも楽しいですね。

図書館では、庭づくりにおすすめの本を展示しています。ぜひご覧になって、花の植え方、育て方の参考にしてみませんか？



★手入れが楽な庭にしたい!!★
『手間いらずの庭づくり』
植える花と、場所を選ぶと手入れが簡単。樹木・草花のカタログも掲載しています。

★プランターやバスケットで寄せ植えを楽しむために★
『季節の花をセンスアップ! 3ポットから作れる寄せ植え』
花の組み合わせは無量大。いつもと違った寄せ植えに挑戦してみては!



★ガーデン巡りが好きな方には★
『北海道ガーデンを旅する』
北海道を代表する庭園の7か所と花の名所60か所を紹介しています。

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112